

平成 21 年度インターネットによる
「青少年の薬物乱用に関する調査」

報 告 書

平成 22 年 9 月

内 閣 府

はじめに

政府では、平成20年8月に「第三次薬物乱用防止五か年戦略」を策定し、薬物乱用の根絶に向け、関係省庁が一体となった総合的な取組を推進している。

本戦略では、目標のひとつに「青少年の薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上」を掲げ、近年、青少年を中心に乱用が懸念されている大麻、MDMA等合成麻薬等につき、青少年による薬物乱用の根絶に向け、一層の充実を図ることとしている。

こうした中、青少年に対し影響の大きい著名人等の薬物事犯や、大学生等を中心とした大麻事犯が発生する一方、インターネットを利用した薬物の売買等、青少年が薬物を容易に入手できる環境の存在等が指摘されており、青少年に対する薬物乱用対策について、理解を深めていく必要があると考えられるところである。

内閣府では、これらの状況を踏まえ、現状における青少年を中心とした国民の薬物に対する意識を把握するため、有識者による調査の場を立ち上げ、インターネット調査を実施した。また、この場においては、薬物乱用防止活動に積極的に取り組む団体の代表者から意見を聴取するなどして、今後の青少年に対する薬物乱用対策について調査を行った。

調査では、薬物乱用防止教育の有無により、薬物乱用が与える心身への影響や認知度などが大きく異なるなど、現在行われている薬物乱用防止教育や広報・啓発活動が、青少年の意識に影響を与えていることが判明した。一方で、自尊心尺度検定結果等から、薬物乱用に対する規範意識が低い層では、規範意識が高い層に比べると、将来の薬物乱用の危険性が懸念されるなど、青少年全体に対する規範意識を向上させていくためには、こうした危険因子の高い層に対する対策を考えていく必要があることが指摘された。これらの層に対する有効な対策を見出すには、更なる検討を要するが、家庭や地域社会を巻き込んだ一層の取組を推進していく必要があると考えられる。

本報告書は、これらの調査の結果とともに、取組の成果や課題を整理し、とりまとめたものである。本報告書が、今後の青少年の薬物乱用対策に資することを願っている。

本調査を実施するに当たり、御協力頂いた委員各位並びに関係諸機関の方々に御礼申し上げます。

平成22年9月

内閣府

目 次

調査の概要.....	1
1. 背景.....	1
2. 目的.....	1
3. 概要.....	1
4. 委託機関.....	1
5. 方法.....	2
報告書の見方.....	4
第1章 青少年の薬物乱用防止のための効果的対策の検討	
第1節 政府における青少年の薬物乱用防止に関する取組の現状.....	9
1. 薬物乱用対策推進本部（現：薬物乱用対策推進会議）における戦略策定.....	9
2. 第三次薬物乱用防止五か年戦略フォローアップ.....	10
第2節 調査結果からみた青少年の意識.....	15
1. 青少年の薬物に対する意識や実態について.....	15
2. 薬物乱用防止教育・啓発について.....	27
3. 青少年の薬物問題.....	31
第3節 青少年の薬物乱用防止のための効果的対策への意見.....	32
1. 薬物乱用防止対策全般における意見.....	32
第4節 参考人ヒアリング調査.....	35
第5節 青少年の薬物乱用防止のための効果的対策について.....	37
1. 学校教育の充実.....	37
2. 家庭教育の必要性和期待.....	40
3. 地域社会における青少年の見守りの推進.....	40
4. 有職・無職少年への教育・啓発の強化.....	41
5. 自尊意識の低い青少年等への啓発、相談・支援体制の強化.....	42
6. 広報・啓発活動の充実.....	42
7. 最後に.....	43
第6節 委員による所見.....	44
アメリカにおける「薬物使用と健康に関する全米調査」： 本調査と比較するための素材として（藤本哲也）.....	44
教育・啓発活動のこれからを考える（冨澤正夫）.....	54
求められる薬物乱用防止教育とは？ ～「ダメ、ゼッタイ」だけではダメ～（松本俊彦）.....	59
薬物乱用対策としての青少年への薬物乱用防止教育（三好美浩）.....	68

第2章 アンケート調査結果及びヒアリング調査結果

第2-1章 青少年の薬物乱用に関する調査

第1節 調査の概要.....	75
1. 調査対象者及び有効回答数.....	75
2. 調査時期.....	75
3. 調査方法.....	75
4. 調査対象者の基本属性.....	75
第2節 調査結果の概要.....	79
1. 薬物問題への関心.....	79
2. 薬物についての見聞き.....	88
3. 薬物に対する認識.....	95
4. 薬物乱用に関する意識.....	117
5. 薬物乱用の実態.....	132
6. 学校での薬物乱用防止教育.....	135
7. 学校以外での薬物乱用防止教育・啓発.....	145
8. 効果的な薬物乱用防止教育.....	150
9. 薬物に対する知識.....	153
10. 薬物情勢に関する意識.....	157
11. 薬物乱用防止対策.....	160
12. 青少年の薬物問題.....	164
13. 自尊心尺度質問（F8）との検定結果.....	178
第2-2章 参考人ヒアリング調査	
1. 参考人ヒアリング1.....	181
2. 参考人ヒアリング2.....	183

資料編

調査票.....	187
----------	-----

平成 21 年度インターネットによる「青少年の薬物乱用に関する調査」
企 画 分 析 会 議

座 長：中央大学法学部教授 藤本 哲也
委 員：財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター 専務理事 富澤 正夫
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所薬物依存研究部 診断治療開発研究室長 松本 俊彦
兵庫教育大学教育・社会調査研究センター 助教※平成 22 年 3 月末現在 三好 美浩

調査企画

内閣府 (内閣府政策統括官 (共生社会政策担当) 付 青少年環境整備担当)

オブザーバー

警察庁 (刑事局組織犯罪対策部薬物銃器対策課)
法務省 (法務省刑事局公安課)
文部科学省 (スポーツ・青少年局学校健康教育課)
厚生労働省 (医薬食品局監視指導・麻薬対策課)

事務局

社団法人 新情報センター 企画部部长 府川 克孝
主任研究員 安藤 昌代
主任 高崎 朋子